



ふるさとの**自然** ————— (30)

雨を知らせて鳴く アマガエル

○春の田んぼで大合唱

市内にカエルの仲間は7種類ほど住んでいます。その中でもアマガエルは、最もよく見掛けるカエルです。普段は草むらや木の上で暮らし、名前のとおり雨が降りそうになると「ゲコゲコゲコ」と鳴きます。産卵の季節は田んぼに集まり、夜になると聞こえてくるメスを呼ぶオスの大合唱は春の夜の風物詩です。

○周りの色に合わせて変身

アマガエルは指先に吸盤があり、窓ガラスの上を歩くこともできます。餌は小さな虫やクモなどで、じっと待ち伏せして、獲物がやって来るとパクリと食べます。体は普通は緑色ですが、皮膚にある色素細胞の大きさを調節し、背中の色を茶色や灰色に変えて周りに溶け込みます。

○触ったら手を洗おう

アマガエルの皮膚はいつも湿っていますが、これは皮膚で呼吸をするためです。皮膚からは、毒になる成分も出ていることが分かっていますので、触った後は必ず手を洗うようにしましょう。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)